

## 多治見高校トピックス 多治魂セミナーNo.7 ～中島佑樹さん(産業技術総合研究所)～

第七回の多治魂セミナーは令和元年7月8日に開催し、多治見高校 OB で国立研究開発法人 産業技術総合研究所で研究員をされている中島佑樹さん (<https://unit.aist.go.jp/smri/ja/group/cemicon.html>)にお越しいただきました。今回は、多治見高校で行い、多治見高校生 20 名、多治見北高校生 5 名が参加してくれました。



今回のセミナーでは、事前に本校生徒から中島さんへ受験勉強について教えてほしいというリクエストがあり、中島さんが高校3年生の時にしていた学習方法を教えていただきました。ポイントは集中して学習することと、他者に教えることで自分の理解が深まるので教え合いを大事にすることだとおっしゃられていました。

その後には、中島さんが大学、大学院で行った研究、特に製品を工業化して大量に生産する際に、消費エネルギーが小さくてすむような新しい材料を開発する研究についてお話ししていただきました。

### <参加生徒感想>

実際に中島さんの高校時代の勉強方法や大学での研究など、たくさん具体例を交えながら話していただけて、とても興味深かったです。私は自然科学部に属しており、研究職に興味をもっているため、実際の研究者の方からお話を聞いて参考になりました。今までもこのような講演会に参加してきましたが、国の研究機関の方の話は初めて聞いたのでよかったです。今回の講演を聞いて学習へのモチベーションが高まりました。今後も様々な科学分野に興味を広げながら、様々な進路について調べたいです。

学習の面では、インプットよりはアウトプットの方が重要だと分かりました。中島さ

んから、「自ら勉強会を開いたり、模試で間違えた問題はなぜ間違えたのかを考えてから解説を見たりする」など効率を考えて勉強をされたと聞き、私も効果的な勉強をしたいと思いました。

私は名古屋工業大などの国公立大学に行った後、どのような進路があるのかが気になっていて、今回の講演でそれを知ることができて良かったです。講演では勉強の方法についても教えていただきました。私は「勉強の方法」について何も考えておらず、効率が悪い勉強の仕方になっていると思いました。

私は元々材料系の学問に興味をもっていたので、今回の中島さんの話はとても面白かったです。大学や学部選びの参考になることが多く、とても良い経験になりました。勉強ではアウトプットを意識して自分が本当に理解するまで行い、効率的な学習を心がけていきます。

セラミックという言葉は聞いたことがある程度で、それが何か、何に使われているか知りませんでした。今回の講演を聞いてスマートフォンのディスプレイにも使われていることが分かり、少し詳しくなれました。産業技術総合研究所ではものを作るだけでなく、ものづくりの消費エネルギーを削減する技術を研究していることも分かりました。産総研の立場は、いろいろな研究結果を世の役に立てるようすることと聞き、それは難しそうな反面、すごく面白い立場だなと思いました。私はまだ将来の夢や、やりたいことが定まっていなくても自分が面白いと思える「分野」や「職場」も考えていきたいと思いました。

たじこん  
**多治魂セミナーとは…**多治見高校では、生徒の皆さんに学ぶ面白さを体感してもらう

ために、大学などの研究機関や企業で「熱い思い」をもって活躍されている方を招いて講演会をしていただいています。このセミナーは、多治見高校生以外にも近隣の学校からも参加でき、また、質疑応答の時間を長めに取って、講演者と生徒の皆さんが対話・議論する時間がたっぷりある点が特徴です。今回の多治魂セミナーは申し込み開始後すぐに定員を超えたため、早めに募集を締め切りました。次回からはより大きな会場で開催するので奮って参加してください。

担当：佐賀達矢